



10月15日(土)
2022年(令和4年)

発行所:東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321

毎日新聞東京本社



自然を活用した高層都市

三菱地所と毎日新聞社による「#地球塾2050」が10月15日、東京都千代田区大手町2の常盤橋タワーで開かれました。首都圏の小中学生19人が参加し、私たちは「地球・自然と共生する都市」について考えました。

世界をさらなる発展へ

最近の安定した気候は、地球の長い歴史から見れば例外です。私はそれを知り、不透明な時代を生きる私たちが、これからどのように過ごしていけばいいのか、改めて考えさせられました。

気候変動の代表的な現象としては、大雨があります。大



雨が降れば洪水が起きる。洪水が起きれば、たくさんの被害が出る。その被害は、浸水や土砂災害が起きる。浸水が起きると水につかった家具は使えなくなる。また、その後の掃除も大変です。その手間を無くすために、浮くことができる建物をつくっているところもあるそうです。また、地下の機械が壊れてしま

わないように、地下ではなく、屋上などの高い所に設置することもあるそうです。しかし、屋上に機械を置けば、屋上を使用することはできません。なので、芝の上で動物を飼ったり、アトラクションを作ったりして、建物の全てを有効に、そして安全にすることで世界はさらなる発展をとげると思います。

(前田千真)



3Dな自然あふれる

Torch Tower

私は今まで平面で暮らしていたから、高さを生かした自然という事は全く思いつかなかったです。高度が上がる事で、寒くなったら温暖化で育てられなくなった植物を育てられます。水蒸気から雲が作られているので、そこから商品化できるという発想は目からうろこでした。21世紀特有の3Dな考えを利用して、すぐくワクワクする新しい生活様式が生まれそうだな、と感じました。

そのビルだからこそできる特別な事、というのを探していくのがこれから私たちにできる事です。そうしたら今まで背を向けてきた事にも対応できると思いました。同時に、古い考えで、不便だと思われるかもしれないけれど、私は外出して、自分で解決することや、地面に転がってみるのも解放感があって好きです。だからこそ、それができる地方と丸の内を使い分けて、自分らしい一人ひとりの生活スタイルを編み出していきたいです。

地方を少しずつ活性化させるキッカケにもなり、人を通じて地方ともつながる3Dな自然あふれるTorch Towerになると思えました。完成したら利用したいです。

(富所凛)



シンプルでも役立つ案

僕は「地球・自然と共生する都市」のグループでディスカッションに参加しました。なぜ、このグループに入ったかという、具体的にどのよ



うに共生するのが気になっ
たからです。

このグループで出た案は、
雲を原料に水を作るとい
うのです。確かに、雲は水分
できているし、商品に「雲
からできた水」と書けば、
みんな「雲からできた水
ってどなんだろう」と思
うかも。僕、こんなに
もシンプルな案で、将来に
役立つなんて思いません
でした。しかも、今は水で
戦争が起るくらいです。大
切に少量の水を、こんな
に集められるなんて、す
ごいと思えました。僕、
この世界のためにもっと、
いろいろな案を出した
いと思えました。

(杉山晴瑠汰)

私は今回、地球塾に参加
し、高層都市について学
びました。

高層ビルについての話を
聞いて、ビルの高さを生
かせないかと思いました。
空の生物「鳥」について
知ること

ができると思うのです。も
し、屋上に巣箱があったら、
渡り鳥が休息に来るでし
ょう。そうしたら、生態
系の観察ができるのでは
ないでしょうか。

また、なかなか地上に
来ない鳥の観察ができ、
新たな種の発見もある
かもしれません。鳥との
ふれあいも可能になり
ます。

そして、温暖化により海
面が上昇し、ビルの1、2
階が浸水してしまった時に
、人々が1、2階に降りて
いけば、たちまち海の世
界に入り込むことができます
。そして、魚たちとのふ
れあいを楽しむことが
できます。

私は今回の学習を通して、
生物との新たなふれあ
いについて考えることが
できました。(A・H)

発想でほぐれていく思考

私は高層都市に元々強
く関心を持っていました。
しかし、高層ビルを見
たり、中に入ったりする
だけで満足し、そのビ
ルがどのように活用さ
れているか、それをより
良くするためにどうす
べきかと



考えることはありません
でした。

私が最も印象に残った
のは、ディスカッション
で、高層ビルだからそ
でできる自然との共生
について話し合った
ことです。

ディスカッションを始
める前は、都市化は自然
を貧困に



させるようなことだ
と思っていました。し
かし、話し合うにつ
れて、高層ビルが自然
にもたらす新たな可能
性を語り合うことが
できました。

高度による生態系の変
化に関する実験をする
案や、水不足問題を解
決するためのアイデア
など、高層ビルだから
できることが話し合
いに出きました。

話し合うにつれて、自
身の凝り固まった思考
がほぐれていくことに
気づきました。私は、
ものごとを多様な角
度から見ることや、気
づかなかったアイデア
を発見できました。
(杉田陽香)